

北陸新幹線（敦賀以西）ルートに関する提案

北陸新幹線は大規模災害時において東海道新幹線の代替機能を果たすとともに、北陸圏及び北関東・信越圏と関西圏とを結ぶ国土政策として極めて重要であることから、早急な大阪までのフル規格による整備が必要である。

関西広域連合では、北陸新幹線（敦賀以西）ルートについて、「開業までの期間」や「費用対効果」、「開業による波及効果」などの調査検討を行い、これらを総合的に判断した結果、「『米原ルート案』が最も優位である」ととりまとめ、「平成26年度 国の予算編成等に対する提案（H25.6）」において、「米原ルートによる大阪までの整備方針の明確化」を提案しているところ。

については、これらを踏まえ、敦賀以西の建設促進に向け、次の点について、積極的に対応することを強く要請する。

1. リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期全線同時開業の実現

「米原ルート案」については、リニア中央新幹線の開業が早まれば、米原駅での乗換の不便さが軽減され、また、乗換に伴う施設整備費用等が不要となることが期待されることから、北陸新幹線（敦賀以西）の早期整備と併せ、リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期全線同時開業を実現すること。

2. 北陸新幹線敦賀以西の整備に係る詳細な全体事業費の提示等

北陸新幹線の敦賀以西の整備に係る詳細な全体事業費を提示すること。

また、地方の費用負担については、地域の受益の程度などを勘案し、関西広域連合として、関西全体で解決を図ることとしていることから、費用負担のあり方について、国としても検討すること。

3. 並行在来線が経営分離されないための必要な措置の実施

北陸新幹線の敦賀以西の整備に伴い発生する並行在来線については、京阪神と一体となった交通ネットワークを形成する幹線交通として重要な役割を果たしていることから、当該並行在来線の経営がJR西日本から分離されることは受け入れられず、分離されることのないよう国において必要な措置を講じること。

4. 東海道新幹線への乗り入れ等技術的課題の解決

北陸新幹線の敦賀以西の整備に伴い発生する東海道新幹線への乗り入れ等技術的課題について、積極的な対応を図ること。

5. 日本海国土軸の観点からの今後の高速鉄道網等の整備検討

日本海国土軸の重要性について十分議論していく必要があり、今後、小浜ルートについては、山陰新幹線をはじめとする高速鉄道網等の整備検討の中で議論すること。

平成 25 年 11 月 8 日

関西広域連合

連合長

副連合長

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

兵庫県知事

和歌山県知事

滋賀県知事

京都府知事

大阪府知事

鳥取県知事

徳島県知事

京都市長

大阪市長

堺市長

神戸市長

井戸敏三

仁坂吉伸

嘉田由紀子

山田啓二

松井一郎

平井伸治

飯泉嘉門

門川大作

橋下徹

竹山修身

矢田立郎